

平成19年（2007年）の安達太良山の火山活動

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

2007年の活動概況

・地震や微動の発生状況（図2）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

・噴気など表面現象の状況（図3～6）

若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラでは、4月に沼ノ平火口付近で高さ50mの噴気が観測されましたが、その他の月は観測されず噴気活動は低調な状態が続いています。

6月19～20日に沼ノ平火口を中心とした現地調査を実施しました。赤外熱映像装置¹⁾による地表面温度分布及びサーミスタ温度計²⁾による噴気温度、地中温度の観測結果、沼ノ平南西変質地(Y-3)付近での地熱域が引き続き認められたが前回（2006年6月）と大きな変化はなく、噴気温度、地中温度にも大きな変化はなく、沼ノ平火口の噴気活動、熱活動は低調な状態が続いていました。

・地殻変動の状況（図7～8）

山体周辺で行っているGPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

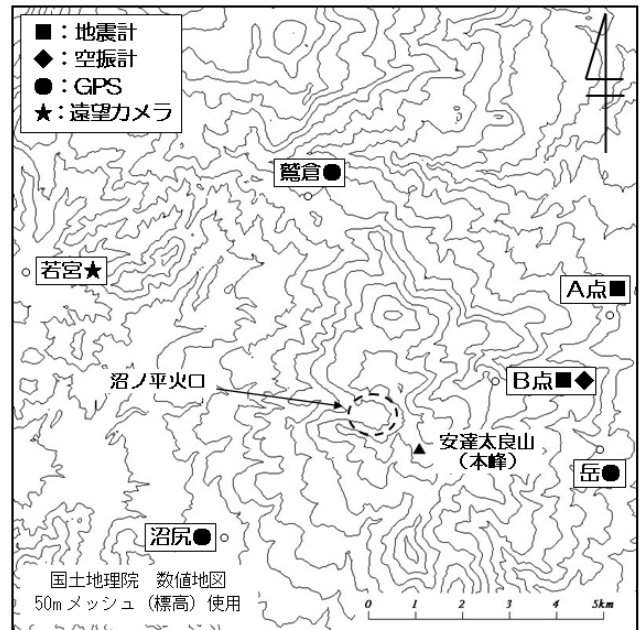


図1 安達太良山 観測点配置図

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する機器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) サーミスタ温度計は、半導体の電気抵抗が温度変化する性質を利用して温度を測定する測器。

2007年の噴火予報及び噴火警報の発表状況

発表日時	噴火警報または噴火予報	活動状況及び予報警報事項
12月1日10時20分	噴火予報（平常）	火山活動はこれまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られない。

注) 平成19年12月1日より噴火警報及び噴火予報の発表を開始し、それに伴い従来の緊急火山情報、臨時火山情報及び火山観測情報は廃止しました。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.sendai-jma.go.jp/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ (標高)」を使用しています (承認番号 平17総使、第503号)。

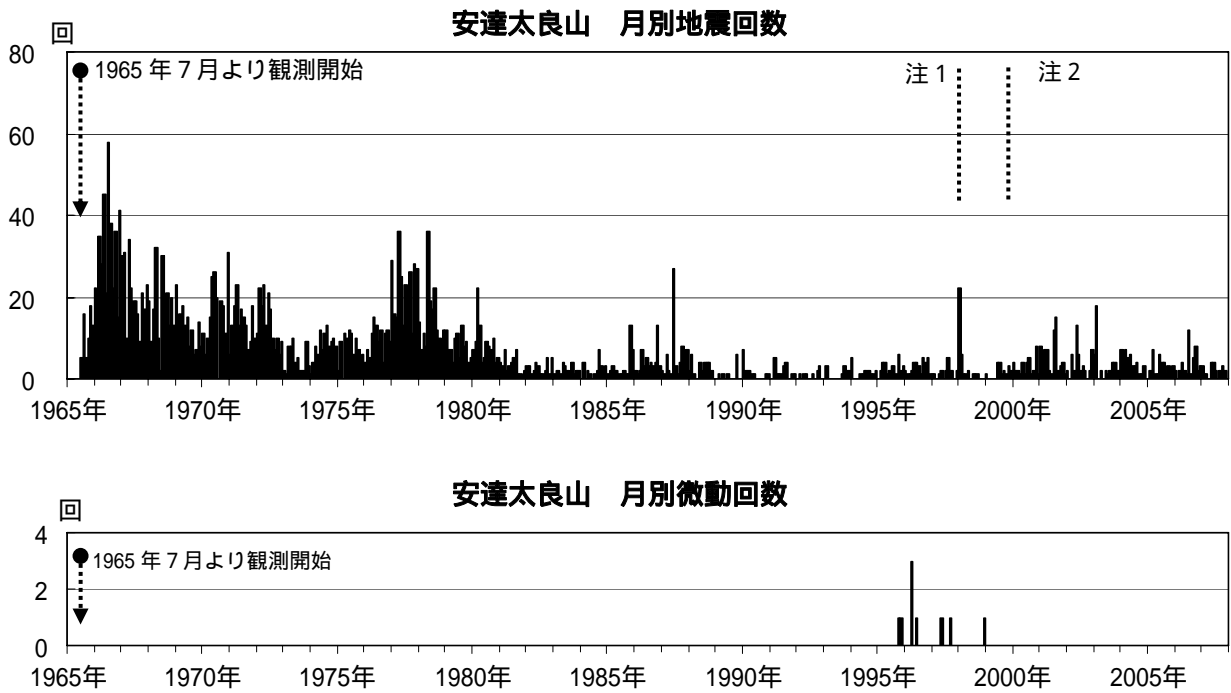


図 2 安達太良山 月別地震回数および月別微動回数（1965 年 7 月～2007 年 12 月）
 注 1）1998 年より検測基準を S-P 5 秒以下から S-P 2 秒以下に変更しました。
 注 2）1999 年 10 月に B 点を新設し、基準観測点を A 点（沼ノ平から東北東約 6 km）から B 点（沼ノ平から東北東約 3 km）に変更しました。

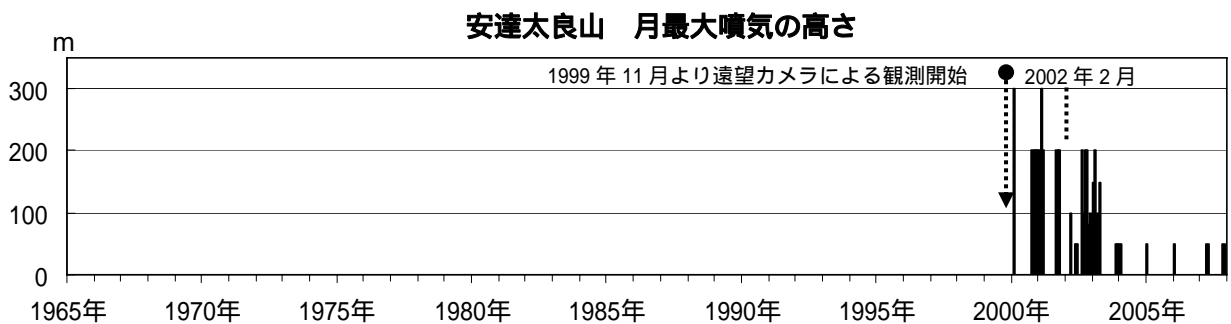


図 3 安達太良山（沼ノ平）月別噴気高（1999 年 11 月～2007 年 12 月）
 2002 年 2 月以前は定時（09 時、15 時）及び随時観測による高さです。
 2002 年 2 月以降は全ての時間を収録データから観測した高さです。

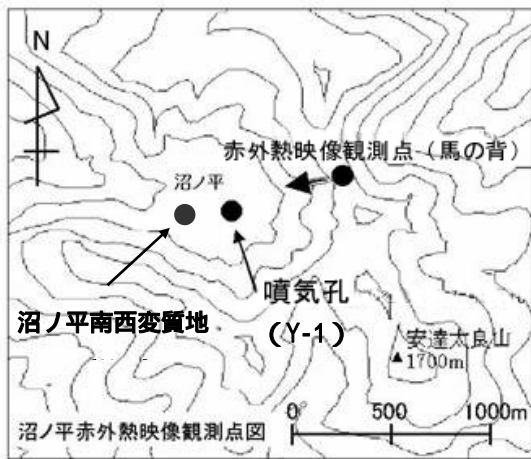


図 4 赤外熱映像観測点図

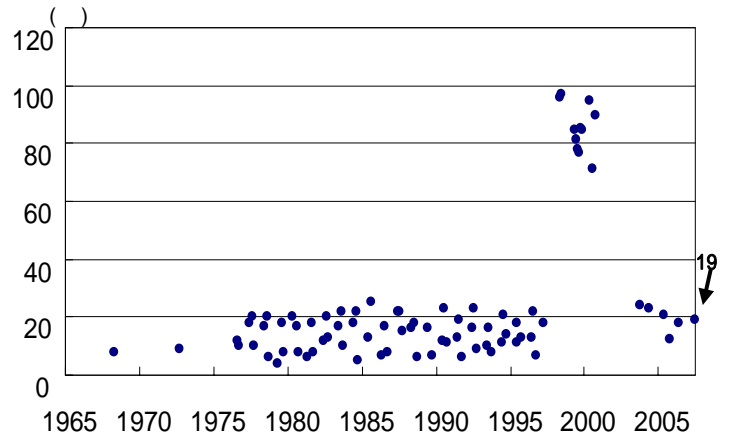


図 5 沼ノ平火口中央(Y-1)の地中温度の変化図

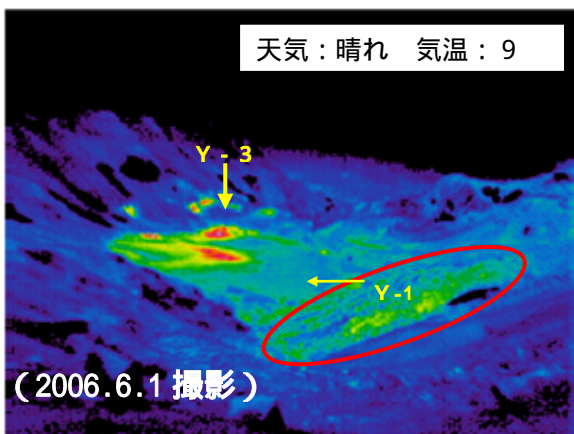
(1968年5月～2007年6月)



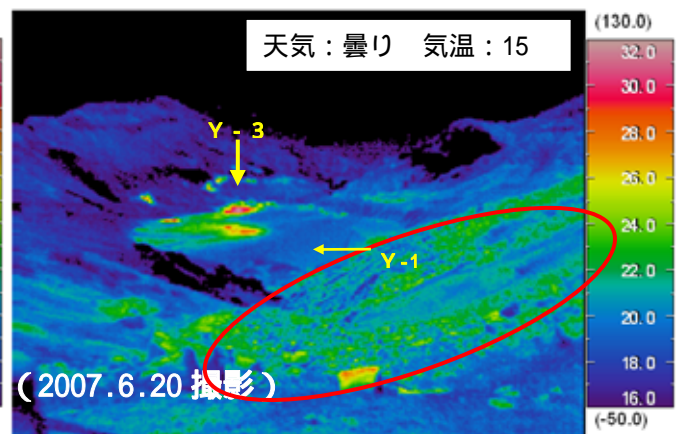
(2006.6.1 撮影)



(2007.6.20 撮影)



(2006.6.1 撮影)



(2007.6.20 撮影)

図 6 沼ノ平の可視画像(上)と赤外熱映像画像(下)

(熱映像画像の円で囲まれた範囲は日射の影響によるものです。)

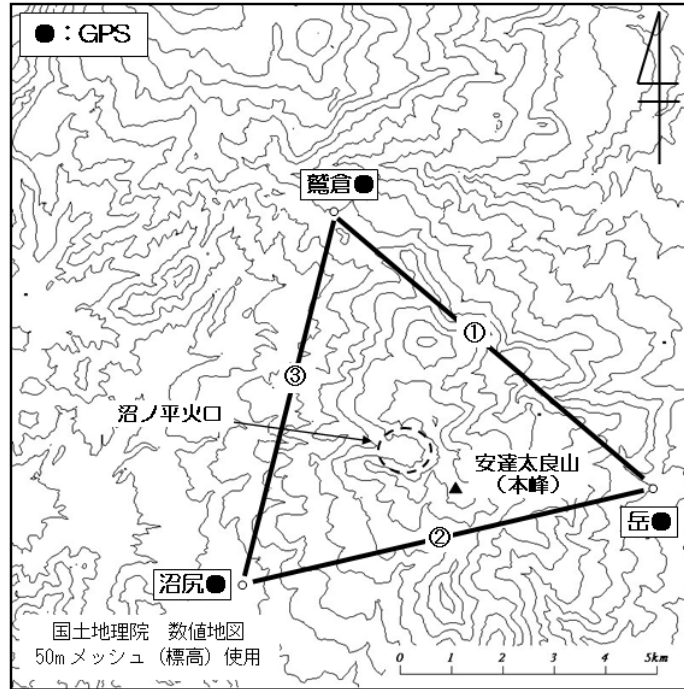


図7 安達太良山 GPS 観測点配置図

GPS 基線 ~ は図8の ~ に対応します。

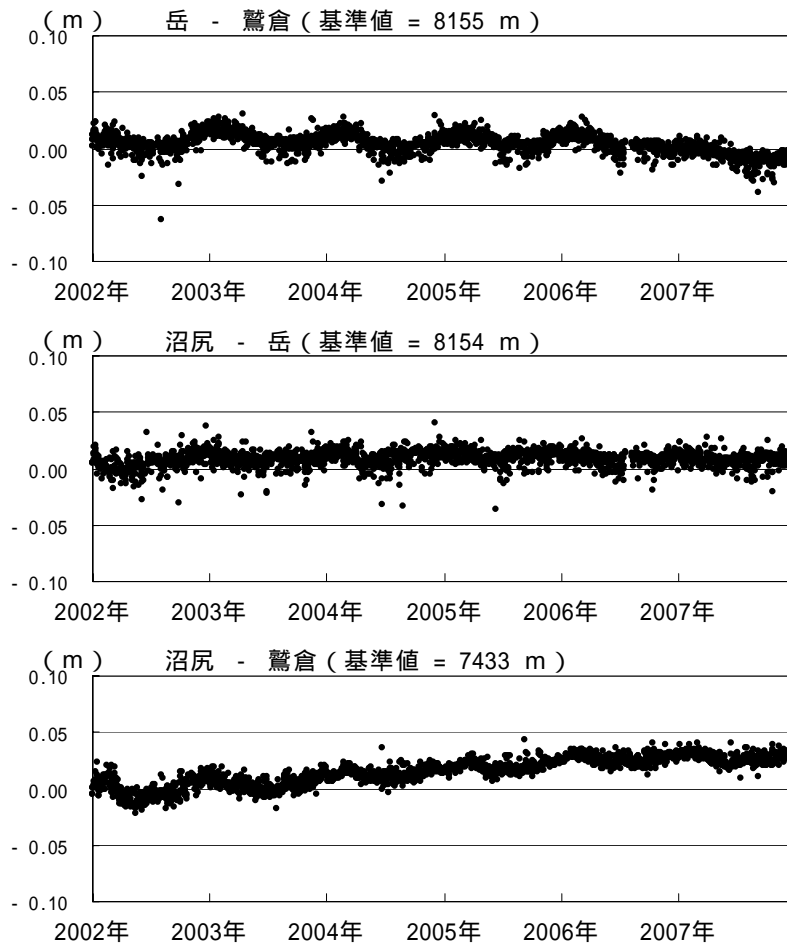


図8 安達太良山 GPS 基線長変化図 (2002年1月~2007年12月)

~ は図7のGPS 基線 ~ に対応しています。